

## TOPICS

## 1

## 共同研究「瀬戸内サステナビリティ&ウェルビーイング研究プロジェクト」最終報告会を開催



10月8日、株式会社ベネッセホールディングスとの共同研究「瀬戸内サステナビリティ&ウェルビーイング研究プロジェクト」の最終報告会を開催しました。

本学と株式会社ベネッセホールディングスは、両者が注力するSDGsを軸に、2020年度から3カ年をかけて、地域の持続可能性と「Well-being: ウェルビーイング」の共同研究を行い、このたび、直島メソッド及び公益資本主義が、直島・犬島・豊島の3島を中心とした地域や住民の「Well-being: ウェルビーイング」にもたらした変化とそのメカニズムについて、学術的な成果として報告しました。

最終報告会は、香川県直島において、瀬戸内国際芸術祭「SETOUCH企業フォーラム2022」内のプログラムとして実施。榎野博史学長らのあいさつの後、研究者から調査結果についての報告、ディスカッションが行われ、熱い議論が交わされました。今後は、3年間の共同研究結果を今年度内に報告書にまとめる予定です。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id11561.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11561.html)



## TOPICS

## 2

## 令和4年度9月「岡山大学学会賞等受賞者表彰 表彰状授与式」を開催

本学は9月28日、「岡山大学学会賞等受賞者表彰 表彰状授与式」を津島キャンパス本部棟で行いました。

本表彰は、学会などが制定する賞を受賞した学生について、それを高く評価し、顕彰することを目的とするもので、今回は自薦・他薦の学生21人を表彰しました。

舟橋弘晃理事(教学担当)・総括副学長が、各被表彰者に表彰状を手渡し、「皆さんが先駆けとして、引き続き日々の勉学や研究に励んでいただくことを期待する」と激励の言葉を述べました。

学生を代表して、大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程1年の杵島静さんは、「実験を進める中で、さまざまな壁にぶつかってきたが、先生方のご指導や研究室のメンバーの助言、支えにより乗り越えられたことに感謝している。今回の受賞を励みに、より一層、研究活動に邁進していきたい」と謝辞を述べました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id11516.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11516.html)



## Pick up!

## 岡山大学職員の内定式を開催



本学は10月3日に、令和5年4月1日採用予定者の内定式を開催しました。事務職員等の内定者計19人(うち3人は10月1日付け採用者)が出席し、袖山禎之理事(財務・施設担当)・事務局長から一人ひとり内定通知書を受け取りました。その後は懇談を行い、袖山理事・事務局長と意見交換。参加した内定者は「岡山大学の一員であるという意識をしっかりと持って仕事に取り組みたい」、「入職までに様々なことにチャレンジし学びを深めていきたい」など、今後の抱負を述べました。その後は先輩職員と懇談し、同期の仲を深めるとともに、大学職員となる自覚を新たにしました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id11517.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11517.html)



TOPICS

3

## 中国五大学学生競技大会バドミントン男子ダブルスで、高橋さん・丁野さんが優勝！！

第73回中国五大学学生競技大会のバドミントン競技が、本学を主管校とし、9月15日、16日に本学で開催されました。

本大会は3年ぶりの開催となり、中国五大学すべてが参加。男女別に、団体戦と個人戦のダブルスを行い、順位を競いました。

男子団体戦は、4勝した鳥取大学が優勝し、3勝1敗の本学は2位となりました。女子団体戦は、4勝した山口大学が優勝し、3勝1敗の本学は2位でした。

ダブルスには、男子の部に43組、女子の部に17組が参加し、それぞれトーナメント方式で優勝を競いました。男子の部は、5勝した本学の高橋賢史朗さん(医学部1年)・丁野元旗さん(環境理工学部3年)の組が優勝しました。

本学バドミントン部の丁野主将は「新型コロナウイルス感染拡大の中、大会関係者の皆様のおかげで本大会が開催できたことを心より感謝しております。本大会を通じて、他大学との試合や交流ができ、様々な面において部員一同成長できたことも大変嬉しく思います」と話しました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id11544.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11544.html)



TOPICS

4

## 「CLTセミナー・共育共創コモンズ構造見学会」を開催



9月26日、岡山市、真庭市が主催する岡山連携中枢都市圏事業として「CLTセミナー・共育共創コモンズ構造見学会」が本学で開催され、約80人が参加しました。

岡山市産業観光局産業政策担当の安藤功夫局長、真庭市の太田昇市長からのあいさつに続き、高橋香代理事からあいさつがありました。

セミナーでは、清水建設建築総本部設計本部教育・文化施設設計部設計長の稲場万鎖夫氏から「CLT工法の新たな可能性を探る」について、学術研究院環境生命科学学域の福本晃治准教授から「CLTの強さを活かす構造」について、講演がありました。最後に一般社団法人日本CLT協会代表理事で、銘建工業株式会社の中島浩一郎代表取締役からあいさつがありました。

見学会では、無柱大空間を実現する「CLT大梁ジョイント・メタルレス構法」を採用したCLT大梁の設置について、構造見学を行い、参加者からは質問が盛んに寄せられました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id11527.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11527.html)

PRESS  
RELEASE

## 岡山大学が国際原子力機関 (IAEA) 協働センターに指定

岡山大学は、オーストリア・ウィーンに本部を置く国際原子力機関 (IAEA) より、がん治療のひとつである「ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT)」の分野において、初のIAEA協働センターの指定を受けることになり、9月26日にIAEA本部において協定書への署名が行われました。わが国におけるIAEA指定機関は、4機関目となります。

この指定を機に、本学ではIAEAと密に連携し、新世代のがん治療であるBNCTの技術開発、特に薬剤と加速器システムや高度専門人材を育成する教育プログラムの開発などに取り組みます。地域の中核となる研究大学としての役割を十分に担いつつ、BNCTの研究・開発・教育を推進し、グローバル拠点を確立し、世界のウェルビーイングに貢献していきます。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id1014.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id1014.html)

